



2017年5月12日

各 位

会 社 名 株式会社セブン銀行
代 表 者 名 代表取締役社長 二子石 謙輔
(コード番号：8410 東証第一部)
問 合 せ 先 執行役員企画部長 竹内 洋
(TEL：03-3211-3041)

中期経営計画の策定について

当社は、2019年度を最終年度とする3ヶ年の中期経営計画を策定いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 中期経営計画の基本方針

当社が持続的に成長するためには収益構造に厚みを持たせることが重要な課題であると認識しており、その解決に向け2019年度を最終年度とする中期経営計画を策定いたしました。本中期経営計画期間を長期的な成長の基盤づくりの期間と位置づけ、以下3事業の強化を図り、業容の拡大に努めてまいります。

- (1) ATMプラットフォーム事業
- (2) 決済口座事業
- (3) 海外事業

2. 中期経営計画の数値目標（連結）

	2016年度実績	2019年度計画	2016年度との差
経常収益	1,216億円	1,616億円	+400億円
経常利益	367億円	447億円	+80億円
ROE	13.1%	13%以上	現水準を維持

3. 具体的な取り組み

(1) ATMプラットフォーム事業

全国23,000台を超えるATMインフラをプラットフォームと位置づけ、提携先事業者とご利用されるお客さまを増やすための施策を展開してまいります。具体的には、既提携金融機関への新たなサービス提供に取り組むほか、決済分野への新規参入事業者に向けたサービス提供等により、従来の概念にとらわれない新しいATM利用スタイルを創造し、新たな市場開拓に努めてまいります。

また、グループ内への着実な設置を継続しつつ、交通・流通・観光の各拠点を中心にグループ外

にも高稼働のATM設置を積極的に進めてまいります。このような取り組みを通じ、ATMプラットフォームの品質・規模両面での充実を図りATMサービスの拡大に努めてまいります。

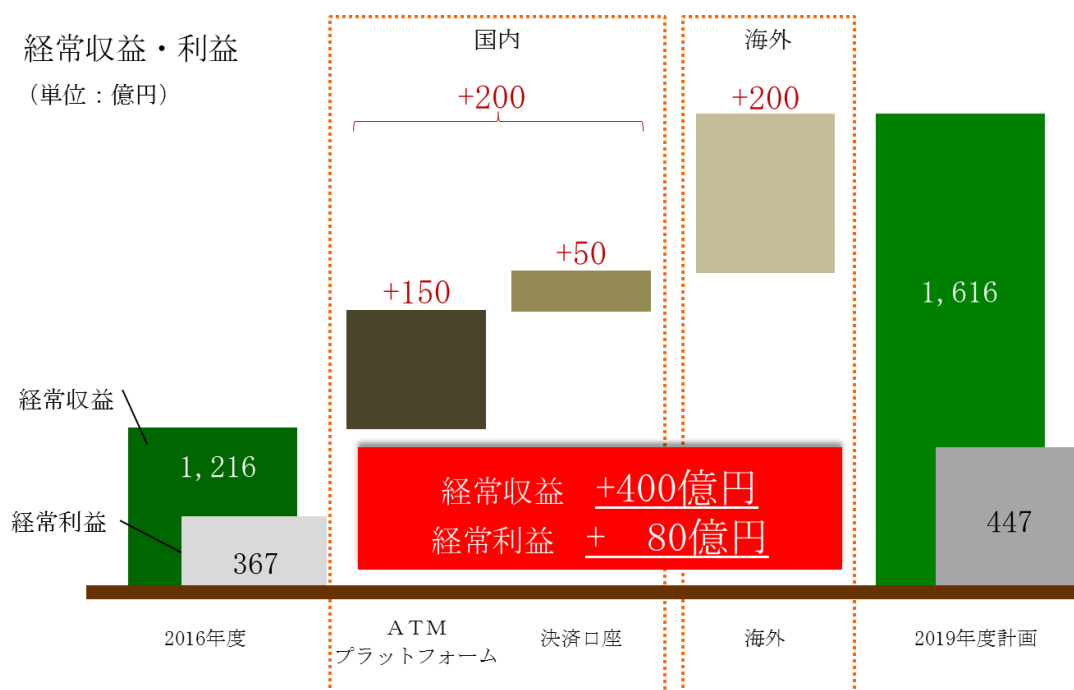
(2) 決済口座事業

個人向けローンや海外送金サービスなどの既存サービスの利便性向上・収益力強化に加え、新技術を活用した独自の新サービスの開発により、更なる収益の拡大に努めてまいります。また、セブン-イレブンをはじめグループ各社に来店される一日2,200万人のお客さまに、決済等の新しい金融サービスを提供するための取り組みを進めてまいります。

(3) 海外事業

2017年度より米国における当社連結子会社のFCTI, Inc.が、米国セブン-イレブン店舗内へのATM設置を開始いたします。当面はその安定稼働に努めるとともに、米国セブン-イレブンとのシナジー効果を追求し、新しいサービスの提供も目指してまいります。また、インドネシアをはじめその他の地域への進出にも、当社が有するノウハウ・インフラを最大限活用し、海外ビジネスの開拓に取り組んでまいります。

これらの取り組みを通じ、本中期経営計画の最終年度となる2019年度には、2016年度と対比し経常収益400億円、経常利益80億円の新たな創出に努めてまいります。



4. 資本政策

当社では本中期経営計画に基づき今後新たに創出される利益を有効活用し、企業としての成長に向けた新たな分野への積極的投資とインフラ事業者として事業継続に必要なリスクへの備えとする一方、株主の皆さまへの還元についても着実に強化してまいります。今後の成長戦略と利益見通しを踏まえ、配当については従来の配当性向を最低35%以上の方針を最低40%以上に引き上げ、安定的かつ継続的に配当実額の維持増額に努めてまいります。

以上